広報 かじき

第218号
昭和48年11月1日発行
発行 鹿児島県姶良郡加治木町役場
編集 総務課文書係
印.刷 吉屋印刷所

稲株の田んぼで遊ぶ子供たち　（安国寺前で）

秋のおわり

南縁の脚焼くばかり菊日和

■…11月は秋から冬へ、衣替えの月です。落葉の色にいよいよ秋のおわりを感じます。7日は立冬です。この日を過ぎれば、もう寒さは駈け足でやってきます。

■…1日から狩猟解禁、そこでハンターにおねがいしておきたいことは、猟銃の保持・保管には細心の注意をはらってもらいたいもの

■…26日から「秋の全国火災予防運動」が始まります。火事は自然災害とちがって、心がけひとつで防げるものです。

隣りにも声かけあってよい消火

暖房器具などの後始末をしっかり

昭和48年 **11** 月号

■メ　モ　　人口／19,772　　男／9,327　　女／10,445　　世帯／6,290　（48年10月1日現在）

9月町議会

住宅建設費など 予算四千七百四十万円を追加

町教育委員に榎園明氏

＝実窓寺磧保存の陳情を採択＝

定例第三回町議会は、九月二十六日から十月四日までの九日間、町議事堂で開かれ一般会計の補正予算四千七百四十万円、加治木港内の埋立てによって新たに生じた土地四万六千平方㍍の確認や教育委員の任命など十五の議案を原案どおり同意可決しました。

また提出されていた陳情九件のうち、町史跡〝実窓寺磧〟保存の陳情など三件を採択しました。なお竜門中学校統合反対と廃油処理工場設置反対、失対事情に関する陳情などの三件を閉会中の継続審査とすることにしました。

2,000トン級の船舶の接岸もできる加治木港

今回の予算追加で総額は十億六千万円

一般会計の補正予算は四千七百四十四万九千円が追加されました内容は春日団地と蔵王団地に建設される公営住宅の建設費の予算補正が主なものです。

この予算追加で四十八年度の予算総額は十億六千一百五十三万一千円となりました。主なものは次のとおりです。

▽老人福祉費三百六十一万六千円（老人医療の扶助費ほか）▽農業振興費二百十八万九千円（生活園芸育成事業補助ほか）▽農地費百五十四万円（小規模土地改良事業ほか）▽住宅建設費三千五百六十六万円（工事請負費ほか）

港に新しい土地　四万六千平方㍍

県が行なっていた加治木港（旧舌出し）の西側の水面を埋め立てる（公有水面埋立て）工事が、このほど終わり、総面積四万六千二百九十三・九一平方㍍の広い新しい土地が海岸にできました。

このため地方自治法の規定に基づいて、議会で新たに生じた土地の確認（注の項参照）をするもので、原案可決されました。

この埋立て工事は、一次と二次に分けて行なわれており、しゅん工の内訳など次のとおりです。

■一次しゅん工

昭和四十八年二月一日

岸壁、物揚場、護岸、道路、荷さばき場、野積場など。

■二次しゅん工

昭和四十八年六月一日

護岸、荷さばき場、道路、河川護岸、野積場、舟揚場など。

注…〔市町村区域内に新たに生じた土地の確認等〕

第九条の五　市町村の区域内に新たに土地を生じたときは市町村長は当該市町村の議決を経てその旨を確認し、都道府県知事に届け出なければならない。

なお、この土地の字の区域については「港町」とし、現在の港町区画に属することを決めました。

公営住宅三十一戸　春日と蔵王に建設

四十八年度に建設する一種・二種公営住宅の工事請負契約が、業者との間に締結したので、町議会の議決を求めたものです。

春日団地内に一種住宅十六戸、

③ページへ

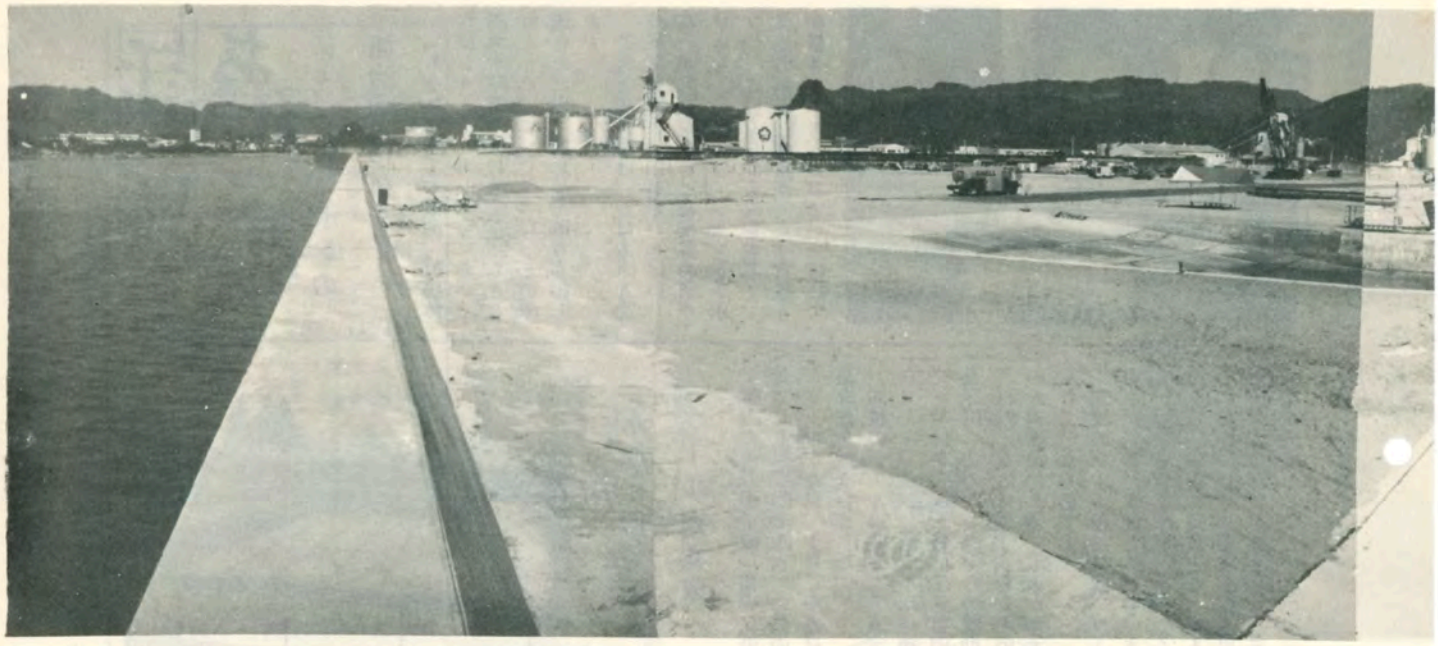
あなたのマナーで、きれいな街づくり……

いつでも、どこでも、ひとりでも、気軽に楽しめる〝たばこ〟――――でも

●マナーやルールを無視した喫煙は，他人の迷惑になります。
●たばこの火は８００度。消し忘れのないよう，あと始末は念入りに。
●たばこの投げ捨ては街を汚し，火災の原因になりがちです。

こうした，ひとりひとりのちょっとした喫煙のマナーが，わたしたちの街をきれいにします。

■未成年の喫煙は法律で禁じられています



②ページから

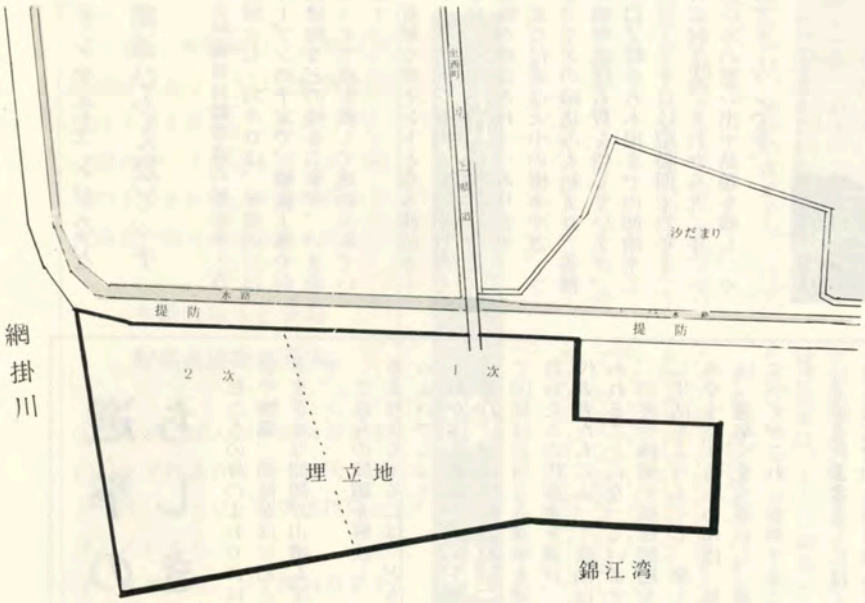
二種住宅八戸、蔵王団地内に二種七戸が建設されます。完成はいずれも来年三月の予定です。

▽一種住宅（簡耐平家）八戸
請負金額　一千三百八十万円
町内本町　（株）幸生建設

▽一種住宅（簡耐平家）八戸
請負金額　一千三百八十万円
町内新富町　武田組

▽二種住宅（簡耐平家）八戸
請負金額　一千三百十七万円
町内本町　親和建設（株）

▽二種住宅（簡耐平家）七戸
請負金額　一千一百五十八万円
町内新富町　（有）昭久建設



西別府線の工事
岩沢組が落札

西別府線の道路改良工事（菖蒲谷付近）は、二千二十六万円で町内仮屋町の（株）岩沢組が落札し工事請負が締結したので、議会の議決を求めたものです。工事完成は来年三月末の予定です。

町の教育委員に
榎園明氏を任命

町教育委員、有村連氏（中野）の任期満了に伴い、後任に小山田御狩山の榎園明氏（四八）を任命することに同意しました。

同氏は、商業のかたわら竜門中学校ＰＴＡ会長、交通安全協会小山田分会長の役職にあります。

町水道事業会計の
47年度決算を認定

昭和四十七年度の町水道事業会計の決算書は、町監査委員（溝口宏二・宮田実）の監査意見とともに町議会に提出され審議された結果、同決算は正しいものとして、議会から認定されました。

町教育委員長に
園田竹次郎氏

さきほど開かれた第三回臨時町教育委員会で、教育委員長・同職務代理者が次のように決まりました。（十月一日付）

▽教育委員長　園田竹次郎（六三）

▽職務代理者　東　明　（五五）
任期は一年
（来年九月末日まで）

話題あれこれ

ジャンケンポンの加治木一に新サワさん

「あなたは第二十五回・町民体育祭ジャンケンポン大会において加治木町第一位の栄誉を勝ちとられました。よってここに、その幸運をたたえ、記念品を贈り表彰します」

このとき会場は、おばあさんの幸運を祝福する拍手でいっぱい。第一回目の優勝者、菖蒲谷の新サワさん（七五）は「ジャンケンポンで、こげな良かもんをもろて、まこて「ふ」が良かった。有難うな皆さあ」と、喜びでいっぱい。

永原小待望のプールが落成

町内の永原小学校（和田二男校長、児童数百四十四人）にこのほどプールが完成、十月二十九日に落成式を行ないました。

同校のプールは長さ二十五㍍で六コース、それに低学年用の補助プール付き。総工費は千三百四十五万円（このうち国からの補助金二百四十万円）で、八月から町内の大英建設によって工事がすすめられていたものです。

同校のプール建設には、プール用水が一番の難題とされていましたが、豊富な水源地がようやく見つかり、待望の建設となったものそれだけにプール落成を祝う児童や校区民の喜びもひとしお。来年の夏が待たれることです。

インタチェンジなど開通ひかえ急ピッチ

九州縦貫自動車道の加治木・吉田間十七・六キロは、年度内にはオープンの予定で、舗装工事や付属建物などの残る工事が、いま急ピッチで夜を徹して進められています。

重要なポイントとなる加治木インターチェンジ内も管理事務所や車庫、ゲート（料金徴収所）などの建物が建造されつつあります。

また付近は大小の樹木や芝、ツツジなどの植込みも始まり、各種の照明燈柱も数を増しています。

口ノ町から木田までの加治木工区三・三キロは昭和四十六年十二月に起工式、それから丸二年、いろいろの思い出や話題を残し、やがてオープンです。

選挙のちしき

私たちの身のまわりには、公害や物価、福祉をはじめとしてさまざまな問題が山積しています。

これらの問題を解決し、生活をよりよくするには、どうしたらよいでしょう。

わが国は憲法で国民主権が宣言され、国民主権の原則によって国民は正当なる選挙を通じて自分たちの代表者を選び、その代表者たちによって政治は行なわれることになっています。

公害や物価や福祉問題を解決し生活をよりよくし、楽しく住みやすくするためには、私たちは「選挙」を大事にし、有権者すべてがこれに参加することです。

立派な代表者なしには、いかなる民主政治も成り立ちません立派な代表者を得るためには、選挙が国民の良識ある態度で〝清く正しく〟行なわなければなりません。

来年は参議院議員の選挙が予定されています。各政党では、すでに推薦候補者の氏名等を発表したりしている今日です。

私たちは正しい政治、住みよい郷土、健全な子孫の成長のため、誘惑や宣伝にまどわされないよう十分に気をつけたいものです。

この期を機会に「選挙の知識」を号を追って掲載しますので、学習の参考にしてください。

事前運動の禁止

選挙運動は、立候補の届け出があった日からでなければ、することはできません。これに違反して事前に選挙運動を行なうと選挙違反で処罰されます。

この罪は、事前に選挙運動を行うことにより成立するものであって、その後、立候補したかどうかには関係がありません。また立候補の意思のある者だけでなく、立候補の意思のある者のために事前に選挙運動することも、この罪に該当します。

選挙運動

ある特定の選挙について、特定の候補者の当選を目的として投票を得るため、または得さしめるために直接または間接に必要かつ有利なすべての行為ですしかし当選を得るため一般選挙人に働きかけるものと認められない純粋な立候補準備行為や選挙運動準備行為、政治活動等は事前運動から除かれますが、選挙運動期間中の禁示事項から除外されている個々面接や電話による選挙運動の行為であっても立候補の届け出前であると事前運動になり、違反となります。

狩猟シーズン始まる

ふえる猟銃事故

十一月一日からハンター待望の狩猟が、解禁になります。猟期は来年二月十五日までです。

最近は狩猟がさかんになり、昨年度の県下のハンターは一万五千人に達しています。これを反映して、狩猟事故も増加の傾向にあります。

▽昨年の狩猟事故（全国）

事故件数　一八二件
死　者　一二人
負傷者　一七七人

▽鹿児島県内の事故

事故件数　一一件
死　者　二人
負傷者　一〇人

昨年度の事故の原因は、前方を注意せず発砲したもの六件、暴発五件です。

死亡事故は、いずれも暴発事故で①家族とともに帰宅途中、鳩を撃とうと、銃にたまをこめて獲物を探して歩くうちに暴発し、前を歩いていた妻にたまがあたって死亡させたものや②同僚と猟に行き獲物を追っているうち、木の枝に引金を引っかけて暴発し自ら死亡した事故があります。

前方不注意の事故は、友達と猟に行き、獲物だけに気をとられ友達が、どこにいるかも確かめず発砲し、友達に負傷させた事故が、もっとも多く発生しています。

これらの事故を防ぐために、次のような基本的なことを守ることが必要です。

▽…猟場に着くまでは絶対に銃にたまをこめないこと。

▽…たまをこめたら必ず安全装置をかけ、発射の直前まで、はずさないこと。

▽…発射するときは、獲物だけに気をとられず周囲の安全をたしかめること。

▽…銃を持っているときは、落としたり、ころんだりしないよう注意すること。

次に、銃の保管については、堅固な保管庫に〝かぎ〟をしておくことと、銃とたまを別個に保管することが義務づけられていますが最近、銃を自動車の中につんだままでいたり、床の間に立てかけたままでいたため、盗まれた事例がありました。

このような保管は、違反として処罰を受け、あるいは許可の取消しの対象となるだけでなく、盗んだ銃を悪用され第二の事件・事故が発生することも考えられます。銃の保管は、とくに厳重にしてください。

また、故障銃をそのまま放置したり、勝手に銃の改造をすることも禁止されていますので、このようなことのないように十分注意して、今年こそ銃砲や狩猟による事故のないように努めてください。

今月の納税　保険税（第四期分）

郵便局だより

郵便番号簿を全戸配付　届かないかたは局へ

加治木郵便局では、新しい郵便番号簿を町内全戸の世帯に配付しましたが、まだ届かないところは同局の郵便課へ申出るよう呼びかけています。

郵便番号を記載しよう

郵便物はすべて郵便番号によって区分作業が行なわれます。加治木郵便局で扱う郵便番号の記載率は九六％で、あと一歩というところ。同局では「郵便番号はあて名の一部」として必ず記載するよう協力を呼びかけています。

奥さんのパートと税金

最近は，県内各地に誘致企業が進出していますが，人手不足などのためパートで働く主婦を求める企業も多くなっています

主婦がパートで働く目的は，生活資金やレジャー資金などいろいろありますが，収入のあるところについてまわるのが税金です。

そこで，主婦が働いたときの収入と所得税の関係について説明します。

所得税は一年間の所得金額から配偶者控除，扶養控除，基礎控除などを差し引いて計算します。

しかし，配偶者に一定額以上の所得があるときは，配偶者控除はできません。したがって，主婦のパートによる収入が一定額以上であれば，夫の所得から配偶者控除は受けられません。

主婦の収入と夫の配偶者控除の関係

①…主婦の収入が年間34万2千円（月平均2万8千500円）より少ないときは，配偶者控除を受けられます。

②…主婦の収入が年間34万2千円以上で41万2千円（月平均3万4千300円より少ないときは，配偶者控除は受けられないが主婦の収入に所得税はかかりません。

③…主婦の収入が年間41万2千円以上のときは配偶者控除は当然うけられず，主婦の収入自体に所得税がかかり，主婦が独立した納税者となります。

隣りにも声かけあってよい防火

秋の全国火災予防運動〈十一月二十六日～十二月二日〉

秋の全国火災予防運動が、ことしも十一月二十六日から十二月二日まで、全国いっせいに行なわれます。

この運動は、火災多発期を迎えるため、国民ひとりひとりの防火意識の向上をはかり、火災の発生防止と人命損傷事故の絶滅を期することを目的とするものです。

ことしは「隣にも声かけあってよい防火」を統一標語として家庭内における安全点検、旅館、病院百貨店などの消防用施設等の保守および避難等を重点として実施されます。

自治省消防庁が、このほどまとめた今年上半期（一～六月）の火災の概要によると、出火件数は前年同期より二九・八パーセント、九千六百二十三件増の四万一千八百八十一件で、過去五カ年間で最高となっています。

これを種類別にみると、

▽建物火災　二三、一七〇件
▽林野火災　五、八二三件
▽車両火災　二、〇〇一件
▽その他の火災　一〇、八八七件

また、死傷者数は死者が九百六十六人、負傷者五千二百五十八人というのが実態です。

全国いっせい実施事項

■家庭内における安全点検
○老人、病院、幼児等の就寝場所の再点検
○たばこの投げ捨てと寝たばこの防止
○消火器具のそなえつけ
○暖房器の正しい使い方

火災の予防と消火

―自分の家に限って火事にはならない―と考えていても「ついウッカリ」とか「まさか」ということがあるものです。

こと〝火〟については、くれぐれも慎重な取り扱いと点検が必要です。

火を出さないために

■たばこの投げすて、置き忘れをしない。とくに寝たばこは、たいへん危険です。

■コンロ、ストーブなどは正しい取り扱いをする。また、まわりに燃えやすいものを置かない。

■外出するとき、就寝するときは必ず火のもとを確かめる。

火災に備えて

○常に消火器やバケツ一ぱいの水を用意しておく。

火事になったら

□早く一一九番で場所・目標・状況を知らせる（集団電話からは〇一一九番）

□まわりの人に大声で知らせ、小さな火ならば、消火器を使って初期消火につとめる。

子どもの留守番

■子どもだけを残して外出するときは、特に火の管理に気をつける必要がある。親心からの暖房が思わぬ事故につながることもある

■旅館や病院、百貨店等における消防用設備や避難
▽消防用設備などの点検、保守管理の徹底
▽避難路の確保
▽避難誘導の徹底
▽避難訓練の実施

■工場、作業場の火災防止
◎危険物等の施設の自主点検
◎保安教育の実施

お米の購入は

小売販売・登録店で

お米は、私たちの主食です。それだけに品質はもちろん、先ず衛生的なものでなければなりません。そのためには、あらゆる検査を経た衛生的に安全で「質・量」に優れた登録店で、正規の配給米を食べることが大事です。

最近町内の無資格店で法違反の販売行為が行なわれていることなどから消費者の健康と販売の扶序を守るために県や食糧事務所と協力し、指導を行なうことにしています。

お米の販売は食糧管理法で「知事の登録を受けて米穀類の売渡しの業務を営む者」法第八条2項＝しか行なうことはできないことになっています。

お米の購入は〝米穀小売販売業者〟から買いましょう。

町内の販売登録店は、次の十四のお店です。

今田茂次商店…（新富町）
三幸商会……（本　町）
橋口チエ子商店（錦江町）
榎園明商店……（小山田）
瀬戸山道雄商店（錦江町）
木場政昭商店…（岩原西）
池田国善商店…（永　原）
片平良恵商店…（仮屋町）
岡山スミエ商店（錦江町）
池田すみえ商店（岩原東）
岩田一郎商店…（朝日町）
村田岩吉商店…（朝日町）
今薗愿商店……（本　町）
法元幸彦商店…（田　中）

出品の肉用牛と豚

郡共進会で好成績

九月二十五・二十六日の両日、隼人町で姶良郡畜産共進会が開かれ、当町からも肉用牛七頭、豚三頭が出品しました。

審査の結果、十頭とも上位入賞の好成績となりました。成績は次のとおりです。

▽肉用牛（一部）
優等　楠元正男（桃木野）
〃　鷲　初美（上木田）
一等　中野親義（上東木）
▽肉用牛（二部）
一等　郡山清熊（須　崎）
二等　前村松美（市　野）
▽肉用牛（三部）
一等　鶴田　悟（赤　谷）
二等　富秋辰己（迫　）
種豚（バークシャー）
優等　末吉君子（毛　上）
一等　柚木邑子（朝日町）
▽種豚（ランドレース）
二等　宮脇キヨ子（小田倉）

野鳥を飼うときは

知事の許可が必要

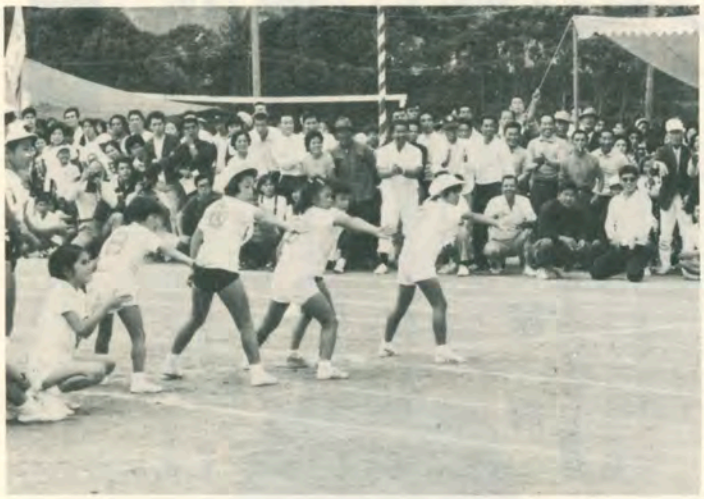
▽…つぎの野鳥を飼うときは、知事の許可が必要です。

メジロ、ウグイス、ホホジロ、ヤマガラ、ヒバリ、ウソ、マヒワ、ノジコ、コマドリ、コルリ、オオルリ、タカ類。

第25回
町民体育祭

錦江第一地区が優勝

竜門地区は4位に入賞



第二十五回・町民体育祭は十月十日の「体育の日」に加治木中のグラウンドで行なわれ、町内の各保育所の園児たちの遊ぎから、地区対抗男子千二百㍍リレーの決勝まで二十七種目の演技や競技で終日にぎわい、得点で二百二十三点の大量をあげた錦江第一地区が優勝しました。

今回は、一部の地区の改編成を行ない、これまでの竜門の四地区（東元、西元、東浦、西浦）を一つに、また永原の第一、第二と辺川も一つにまとまりました。

この二つの地区は竜門地区、永原地区として新たな陣容で今大会に出場しました。この改編成の効あって、竜門地区は下場地区の強豪の中に食い込み、大会四位の好成績をおさめました。

午後からの演技で新しく登場した〝ジャンケンポン大会〟は、初めてのことで演技の内容、要領がわからずにテントの中で見物する人が案外多く、ちょっぴり期待はずれの感じもありましたが、それでも三百人がグラウンド内に集まり、老若男女いりまじりジャンケンポンが始まりました。

負けた瞬間、大きく笑う人。数十年ぶりに童心にかえり、腰をやおら伸ばしてジャンケンに興じるお年寄りなど、そのたびに会場もドッと湧き、なごやかで楽しい種目となりました。

こうして八回目に西別府・菖蒲谷の新サワさん（七五）が勝ち残りみごとジャンケンのチャンピオン〝加治木一〟となり、会場から起こる祝福の大きな拍手にそえて、大会会長から賞状と大きな記念品が贈られました。

テント内では、

「まこて良かとを考え出したもんな。こいならケイコもせんで良かし、だいでん一度は町民体育祭に出いがないし。来年は出ん見んそやハ…」

と、演技の要領もわかり早くも来年の体育祭にかけるなど、あちこちでジャンケンポン大会の話題はつきないようでした。来年のジャンケンポン大会のチャンピオンはどなたでしょう。来年が楽しく待たれることです。

こうしてハズンもハズンだ二十五回大会は事故もなく無事に終了しました。各地区の出場選手のみなさん、この日のために日夜、東奔西走された地区体育指導員のかたがたや大会役員のみなさんご苦労さまでした。

〔体育祭の成績〕

① 錦江第一　二二三点
② 錦江第三　一四八点
③ 城西　一三二〃
④ 竜門　一三〇〃
⑤ 城東　一二八〃
⑥ 永原　一一七〃
⑦ 城南　一〇七〃
⑧ 城北　一〇六〃
⑨ 錦江第二　九五〃
⑩ 中野　八九〃

竜門地区がトップ

48年度社会体育総合成績の発表

体育祭の表彰式の席で、これまでに行なわれた各種の社会体育の総まとめとなる四十八年度・社会体育〝総合成績〟の発表と表彰が行なわれました。

①竜門……六四　⑥城北……四四
②錦江㈢…五五　⑦城南……四〇
②城西……五五　⑧永原……二九
④錦江㈠…五二　⑨錦江㈡…一八
⑤城東……四九　⑩中野……二

竜門句会

落人もこの道来しや秋ざくら　横山江南

嘶きて霧より出ずる馬また馬　松永愛子

葡萄狩る出雲の言葉みな優し　恒吉斗南

白雲の杉の秀（ほ）わたる蕎麦の花　鶴田　耕

草雲雀一度ききたる径選ぶ　井上透山

名月や物皆青し田舎径　伊丹　司

訃報来て虫の音しげき夜となりぬ　蓑毛夏江

秋雨が糸のごとく降りはじむ　三浦大鵬

あれが朝日か田舎の夕日が病んだよう　川崎鉄雄

えび色の芒の波や何招く　中山待香

御本家の菊を見まねてならべけり　林　玄洋

婦人会だより

高田敏江女史（詩人）の講演

生活の中に詩心（うたごころ）をとり入れましょう。詩とは、人の心を思いやる心、自然を素直にみつめ、美しいものは美しいと、醜いものは醜いと素直に表現することだと話されました。

私たち婦人はただ、働き、肉親を愛する心は本能的にありますが他人を自然を愛し、思いやることを近頃、忘れています。㊙㊙㊙運動の真随は詩（うた）心だと思います

着物着つけ教室　近日中に着物着つけ教室を部落講座、中央講座で開設します。部落婦人会長を通じて町婦連に申込みください。着物を美しく、帯を上手に結ぶことは詩心にもつながることだと思います。

弁当コンクール　十一月二十日センターで町婦連主催の〝成人者高校生向き〟の弁当コンクールを開きます。当日は、いろいろの企画を考えています。会員の皆様の出品参加をお願いします。主人や子供たちの弁当を、あらためて考えなおす機会にしたいと思います㊙㊙㊙運動のか考えなおそう―になります。

文明病の一つ　糖尿病

早く発見・正しい治療

十一月六日から十二日まで、糖尿病予防週間が全国いっせいに行なわれます。

糖尿病は、のどが渇き、多量の水がほしくなり、疲れやすく、だるくなる病気です。文明病の一つともいわれます。若い層からの発病も増加の傾向にあります。

糖尿病は定期検診や人間ドックなどで偶然に発見されることもしばしばです。ですから積極的に検診を受けて、早期発見につとめるべきでしょう。

そして、できる限り早く正しい治療、すなわち食事療法や運動療法を行なって、糖尿病そのものの進行をくいとめるばかりでなく、ほかの余病の発生や進展を防止することです。

この機会を利用して、一般のかたがたが糖尿病を正しく理解して毎日の食生活がいかに重要なものであるか―知ってほしいものです

香典返しを寄付

町社会福祉協議会へ

香典お返しのかわりに、ご寄付をいただきました。厚くお礼申しあげます。

金額　ご遺族　故人

一万円
川　内　川内シズエ（夫貞助）

二万円
新　中　福元トヨ（夫重蔵）

五千円
西ノ原　峯山恵鷹（父繁仁）

二万円
隈原下　片ノ坂　登（父国彦）

一万円
浦和市　丸目チカ（夫美良）

十月二十日までのご寄付を掲載しました。

町内の当番医

〈十一月〉

3日	壱岐医院	②	二二二二
4日	池田医院	②	二二二〇
11日	岩崎医院	②	二三二五
18日	大川医院	②	二〇二二
23日	神田橋医院	②	二〇二四
25日	平山医院	②	二四六八

〈十二月〉

2日	玉利病院	②	二三二八
9日	岩崎医院	②	二三二五
16日	池田医院	②	二二二〇
23日	壱岐医院	②	二二二二
30日	大川医院	②	二〇二二

随想　田代善太郎日記

曽木隆輝

このほど京都華頂短大教授、田代晃二氏から亡父善太郎氏の明治・大正・昭和三代五十年にわたる日記や遺稿をまとめ、出版した―と三冊二千ページにのぼる本が送ってきた。採集された植物名、世事など細かに書いてある。

田代善太郎なる人を知る人は今日の加治木にはもう少くなった。彼は福島県出身で東京高師を卒え熊本師範、長崎高女などを経て、大正年代の大部分を旧制加治木中学で博物（動植物）の教師だった。

大正の末、京都大学理学部に招かれ、有名な牧野富太郎博士のもとで、日本植物学とくに分布分類について研究を続け、昭和二十二年七十五歳で逝去された。

加治木では諏訪町に住み、たえず県内各地はもちろん、九州各県の山野を踏み分けて、植物を採集研究しておられた。私ども当時、中学生だったが、とぎどき霧島や開聞岳などにおともして、草木の名前を教えてもらった。先生は生き字引きのようで新種も相当発見された。

ママコノシリヌグイという名の茎全部にトゲのある草やヤブレガサという広い葉の草の名など教えてもらったが、変てこな名前ゆえいまも覚えている。

昭和十四年先生は惜しまれて加治木を辞し京都へ移られた。この年、私は京都大学へ入学したので一日、先生をたずねた。先生は長男と二人で広い家に居るから、君もこないか―と進められ同居さしていただいた。酒も煙草ものまず真面目な学者だったが、実にやさしい親爺さんだった。このことも日記に出ている。

大学裏の吉田山のふもとにある真如堂というお寺の近くにあったこの家に、私は二カ月ぐらいお世話になった。翌年、東京の大学へ転ずるための準備に京都を離れたので。

長男の晃二氏が、八年がかりで約一千万円の費を投じ、父上の日記を自費出版されたわけだ加治木方面の地名・人名について註を加えたり、必要な写真を向江巧君に写してもらったり、多少お手伝いをさしてもらった

本書は日本、特に本県の植物研究に得難い資料だ。令息の親への偉大な奉仕にも私は心を打たれた。